



# 生活指導便り 第6号



平成30年9月21日発行  
あきる野市立東中学校  
校長 田島 弘之  
生活指導部

## 衣替えと最終下校時刻の変更について

夏服から冬服への衣替えの季節となりました。冬服着用期間は、平成30年10月16日(火)～平成31年5月17日(金)とします。移行期間は平成30年10月1日(月)～10月12日(金)です。事前にご準備をお願いします。

右図は、学校で生徒に指導している『これが東中の基本だ！～服装・髪型編』です(生徒手帳P14)。ご家庭におかれましても“中学生らしい”服装や髪型へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

なお、10月1日(月)から最終下校時刻が18:00に変更されます。部活動も同様です。これからの時期は、暗くなるのが早くなります。部活動後や放課後は、複数人で下校し、安全に留意しましょう。

This is your school life

### これが東中学校の基本だ！～服装(冬)・髪型編～

服装や髪型を“飾って”個性を表現するのではなく、心を“磨いて”内面から個性を輝かせましょう。  
立場(中学生として)を考えた外見や振る舞いを身に付けることも『社会性』の獲得には大切です。

前髪は目や耳にかからないようにする。ツーブロックやモヒカン等の特異な髪型は禁止。

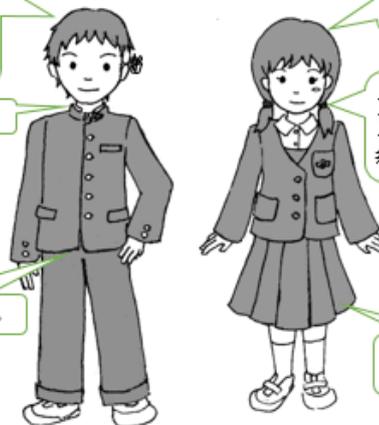
カラー、髷をつける。

ベルトは黒・茶・紺とする。

肩にかかる髪はゴムで束ねる。華美な編み込みは禁止。

ヘアゴムは黒・茶・紺とする。また髪留めは、ヘアピン程度のもので(黒・茶・紺)のみとする。

スカート丈は**ひざにか**かる程度とする。



## H30年～31年度 生徒会本部役員選挙に向けて

9月5日(水)に選挙管理委員会から「告示」が行われ、以下の生徒が意欲的に立候補してくれました。東中の発展に向けて前向きな生徒ばかりです。9月15日(土)には、「生徒会本部役員選挙立会演説会」に向けて、立候補者による「決意表明」が行われました。ピリピリとした緊張感に包まれた雰囲気の中、選挙管理委員の17名と校長先生を始め、多くの先生方の前で、候補者達は、堂々と決意を述べました。今年の選挙は、選挙管理委員長3-3●●●●●くんを中心に進められていきます。体育大会や中間考査の取組と並行に進んでいきますが、東中の将来と東中生徒会の益々の躍進を主体的に考え、全校生徒が意欲的に参加してくれることを期待します。



### 今後の日程

#### ■9/27(木)～10/2(火) 選挙活動

- ①選挙ポスターの掲示
- ②登校時、校門前でのあいさつ活動
- ③昼食時に放送での決意表明



#### ■10/2(火)

- 5時間目 体育館にてあきる野市選挙管理委員会による「選挙について」の授業
- 6時間目 体育館にて立会演説会&投票(今年は本物の投票箱を使用)

#### ■10/2(火) 選挙管理委員会による開票作業 職員室前にて当選結果の公示

役職 (定数)	学年・組	氏名
2年会長候補 (1)	2年3組	
2年副会長候補 (1)	2年4組	
1年副会長候補 (1)	1年4組	
2年書記候補 (1)	2年3組	
1年書記候補 (1)	1年5組	

## 体育大会に向けて

今年度の体育大会も「生徒主体」のキーワードのもと、様々な取組を行ってきました。実行委員をはじめ、各学級の窓装飾担当やクラスによっては、全員リレーや学年種目ムカデ競争の担当、部活動では、吹奏楽部が行進曲の演奏や美術部がスローガン旗作りに携わってくれました。生徒会や部長会では、「生徒会種目 部活動リレー」の企画、運営などに取り組んできました。

今年のスローガンは、『舞進～「生徒主体」へ再挑戦！～』です。一人一人がどのような形で主体性を発揮して本番を成功させるのか。一人一人がどれほどの“本気”を見せて感動させてくれるのか楽しみです。

通常の学習活動や学年行事等が各学年で続いた三週間でしたが、しっかりと地に足をつけて、当たり前前のことを当たり前に取り組んでこれた東中生です。体育大会本番も体育大会後も主体的に考え、判断し、さらなる「生徒主体」に向けて、「舞い」ながら、「進んで」くれることを期待しています。



### 体育大会後の「打ち上げ」について

東中学校では、「行事後の生徒どうしの打ち上げは禁止」という指導をしています。

#### 学校が打ち上げを禁止する理由

##### 1 中学生の夜間の集団での行動は危険

まだ義務教育途中の中学生が集団でたむろすると、周囲を不快な思いにさせたり、要らぬ疑いをかけられたりします。また、中学生だとわかった瞬間にちょっかいをかけてくる人たちもいます。「みんなの良い思い出」が「みんなの嫌な思い出」になってしまうこともあります。しかも、禁止である打ち上げ時に起こったできごとであれば、大人に相談することも気まづくなります。

##### 2 「クラスみんなで集まろう」という大義名分

諸事情で参加できない生徒、または参加したくない生徒が必ずいます。このようなことから、上手に断れる人もいればそうではない人もいます。また、断られた側も不参加を上手に受け入れられる人もいればそうでない人もいます。不参加希望の生徒たちに無理強いしたり、クラスのみんなや家族への後ろめたさや罪悪感を与えることは、人間関係のトラブルにつながってしまうかもしれません。

##### 3 もしトラブルや犯罪に巻き込まれたときの責任の所在

仮にトラブルや犯罪に巻き込まれたとき、責任をとってくれる大人がその場にいません。主催した生徒が責任をとれますか？また主催した生徒の保護者が責任をとるのでしょうか？

##### 4 家庭によって異なるルール

家庭によって夜間外出できない生徒もいます。打ち上げにかかる費用だって捻出してくれるのは親です。これらの理由で「絶対に参加できない」生徒がいます。家庭のルールや事情には、他人は口出しできません。

「クラスで盛り上がりたい。」「クラスで楽しいことをしたい。」という気持ちはよくわかります。しかし、行動結果によっては、せっかく築きあげた“絆”や“仲”が台無しどころか、“— (マ付入)” になってしまうかもしれません。これからまだクラスでの絆を深める場面はあります。

行事だけでなく、学校生活の様々な場面であります。上記の理由をよく考え、それを踏まえた上で、これからもさらにクラスや学年の絆を深め合ってほしいと思います。

